

# 森づくり最前線

東京神奈川森林管理署 世附・丹沢森林事務所 首席森林官 川島 光広



蛭ヶ岳・丹沢山・塔ノ岳

世附・丹沢森林事務所は、神奈川県西部の丹沢担当区と世附担当区の2つの区域を管轄しています。丹沢担当区は、県内最高峰の蛭ヶ岳（標高1,673m）をはじめ、丹沢山、塔ノ岳、鍋割山などの峰を抱える山北町から秦野市のエリアにあります。首都圏から近く、富士山や太平洋などの壮大な展望が得られることもあり四季を通じて多くの観光客で賑わっています。また、玄倉川沿いには「ユーシンブルー」と呼ばれる絶景が見られるスポットが点在しています。（残念ながら現在は、急峻な地形による落石が多く危険なため、気軽に散策出来ない状況になっています。）

世附担当区は、神奈川県、山梨県、静岡県との3県が接している三國峠から北東方向の山北町の中にあります。この地域は、富士山が近く、大昔の富士山噴火による火山灰の一種「スコリア」と呼ばれるさらさらした砂のような土壌で覆われているため、風雨の浸食に弱く非常に崩れやすい地質となっています。平成22年の台風では、豪雨により至る所で林地や林道が崩壊するなど甚大な被害がありました。担当区のメイン街道である水ノ木幹線林道も相当の被害を受け復旧に多大な労力と費用・時間を要し、スコリア土壌を考慮した工法を取り入れるなどして、ようやく今年7年ぶりに開通させることが出来ました。このように、一旦崩壊してしまえば復旧に膨大な



ユーシンブルー（熊木ダム）

な時間と費用がかかるため、森林整備に当たっては、列状に間伐する時は切る列の幅を狭くするなど工夫をしています。

また、この地域ではクマの剥皮被害が拡大しており、ひどい所では百m四方以上がまとめて被害に遭い、皮を剥がれた樹木は徐々に枯れてきている状況です。世附部内はほぼ全域が水源かん養保安林に指定され、重要な水源となっています。緑のダムとしての機能を維持するために、残った木にテープ状の剥皮防止資材等を巻くなどの対策を行っています。画の隣の森林が被害に遭うなど、今一番差し迫った問題となっています。



水の木幹線林道（復旧の状況）

世附・丹沢森林事務所管内は、約6千9百haと神奈川県面積の3%にも満たない地域です。事業規模が小さいため大きな機械を入れても採算が取れる見通しが立たない



クマによる樹木の皮剥状況

い地域の実情を踏まえ、地方創生・地域振興も国有林に課せられた大事な使命であることを念頭に、今後、山作りとしても地域産業としてもメリットがあるWINWINの森作りが出来るように努力していきたいと考えています。



ニホンイノシシ(日本猪)  
100-170cm。母と子からなる群れで暮らす。  
時速45kmで走り、鼻で70kgを持ち上げる。  
木の根が野物で植林した苗を掘り返す。

発行所 関東森林管理局  
編集総務課  
TEL(027)20-1158  
FAX(027)20-1363